
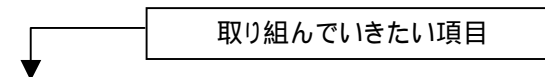


地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>		<p>「健康は人生最高の宝」の理念のもと 食を中心とした健康の保持・増進、そして予防を第一に考えていきたいと思ひます。「心と愛情」が介護の基本と考へ、心をこめたサービスの提供に努めたいと思ひます。「ご自分のお家」として生活して頂けるように、利用者の立場にたった利用者本位という考へのもと、快適と安全の確保に努めたいと思ひます。といった3つを基本理念としている。</p>	<p>現在維持・そして地域に根ざした事業所となるよう、基本理念のもと事業所として活動をしていく。</p>
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>			
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>			
2. 地域との支えあい				
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>			
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>		<p>地域で行われている運動会などでの行事に参加させていただいたり、地域の中学生1日体験学習などの受け入れを行ったりと、地域の方々と交流する事に努めている。</p> <p>今後も今以上に地域の方々にご理解頂けるよう積極的に行事や地域活動にも参加を検討している。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>相談窓口として対応、もしくは他機関へつないでいる。</p>		<p>相談窓口だけでなく事業所の特徴を活かし、地域で生活する方々に役立つ事について話し合い検討・実践していきたい。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価・外部評価を行うことにより出た改善点や利用者の方へのケアの取り組みなどをについて常日頃より職員同士で話し、取り組んでいる。</p>		
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>利用者一人ひとりについても職員同士で話し合い、モニタリングを行いながらより良いケアにむけて考え取り組んでいる。</p>		
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営や事務手続き等についてご相談をさせて頂いている。</p>		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>ご紹介ができるようにパンフレットなど置いており、対応ができるようにしている。</p>		<p>地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について、ケアする機会があまり無かったが、今後学ぶ機会や話し合う機会を設け活動を増やしていきたい。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>勉強会を行っており、高齢者の虐待について学ぶ機会を作っている。また、事業所内で虐待が見逃される事の無いよう職員全員で日々話し注意をしている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4.理念を实践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約や解約時にも十分な説明を行っている。ご利用者様・ご家族様の考える不安や疑問点などを聴きながら説明を行い理解・納得を頂いている。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関の受付窓口に「苦情・意見箱」を設置している。そこでの意見や苦情など職員で話し合い、ケアや運営等に反映できるよう話し合っていて、改善に取り組んでいる。</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>健康状態等の変化は、その日おきた事をその日のうちに連絡をしている。</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関の受付窓口に「苦情・意見箱」を設置している。また、苦情解決の担当者・責任者を決め、流れに沿って取り組みを行っている。</p>	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員が参加する会議を行っている。運営者や管理者、看護・介護職員が参加し、話し合う機会を設けより良いケアに向け取り組みを行っている。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>柔軟な対応ができるよう、人員を配置してある。また、必要に応じ勤務の変更も行っている。</p>	
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員が交代する場合は御利用者の方に説明し、交代職員の紹介や引継ぎを行っている。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設外の研修にもできるだけ参加するようにしている。また職員同士でケアについての長所や短所を指摘しあう事で自ら学び、より良いケアに向け取り組んでいる。		
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者で行う勉強会への参加をしている。機会をみつけ、他所を訪問したり見学に来て頂いたりしている。		
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	管理者や代表取締役と一緒に話す機会を増やし、相談を受けたりスーパーバイザーとしての役割を果たすよう心掛けている。		
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	研修・勉強会への継続的な実施と参加。		職員一人ひとりが向上心を持って働けるようコミュニケーションしながら、勉強会・研修などを継続的に参加していきたい。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご本人様とゆっくり話をし、不安に思っている事・困っている事などを聴き軽減できるようお話をしている。利用開始後も、話をする機会を儲け、不安感が無いかや、気になる事などを話し理解・受け止める努力をしている。		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	来所・電話・訪問等、状況に応じてお話を伺う機会を設け、不安や困っている事を受け止める努力をしている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族様・ご利用者様の状況把握をし、傾聴することを心掛けています。リハビリ・外泊・医療機関への受診・買い物・希望の食事への変更など、できるだけ対応に努めている。		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前に見学をして頂き雰囲気を味わって頂くと共に、施設や他利用者とも少しずつ馴染めるようご家族様やご本人様とよく話し合い、対応している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ご利用者様の地元生活で学んだ料理方法や、生き方を尊重すると共に学ばせて頂いている。		
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	支援方法に関しては、ご様子をご家族様へ伝えたり、面会等でご確認頂きながら共に考えられるよう努めている。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会へお出で頂ける様にお声がけしたり、外泊を希望される場合は送迎の手配等も行っている。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご利用者様に親しい方々等にお電話やお手紙を書いて頂いている。		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	気の合う方々同士で気軽に話ができるようお席の配置やお茶の時間等も使い利用者同士が関わりをもてるように努めている。また、レクリエーションでも交流を促している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>ご家族がご希望になられる場合はお祭りや行事等にお声をかけたり相談を受けたりしている。また、必要があれば連絡を取っている。</p>		
<p>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>				
<p>1. 一人ひとりの把握</p>				
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>ご利用者様1人ひとりの生き方・過ごし方を理解し希望や意向など職員同士で話し合い検討している。</p>		
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>生活の様子や好みなどをご家族様にも伺いながらご利用者様1人ひとりの生き方・過ごし方を理解し、職員同士で話し合いながらケアを行っている。</p>		
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>食事時間や排泄介助・機能訓練・散歩などその方のリズムに応じて対応できるよう日々生活のリズムの把握に努めている。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>				
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ケースカンファを行いご利用者様のケアについてご家族様・ご利用者様に意見を聴き、説明も行いながらご理解頂いている。また、ご家族様からの意見やアイデア等も参考にさせて頂き介護計画作成を行っている。</p>		
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>必要が生じた時はケースカンファを行い職員間で話し合い見直しを行う。また同じように本人やご家族様ともお話しし、ご意見を頂きながら十分説明を行い新たに作成させて頂いている。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ご利用者様にのケアに対しての様子など、ケース記録に記入し介護計画作成・見直しに生かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	外出や外泊・病院受診など、ご利用者様・ご家族様のご要望を聴きながら、ご本人の状況などを見てご提案・ご相談をしている。		事業所にある多機能性について職員間で話し合い、ご提案・ご相談だけではなく支援に努めたい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地元の小中学校より体験学習や、見学等の依頼もあり協力しながら支援をしている。		教養娯楽等、ご利用者様よりご要望があった場合職員だけでなく警察・消防・ボランティアや文化教育関係に協力をあおぐ事を検討。
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	ご本人が必要な場合、他事業所のケアマネージャー等に相談をしながら介護タクシーを使用し、病院受診や外出等に利用して頂いている。		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	同施設内にある通所介護事業では地域包括支援センターにその都度、相談やお話等は行っている。		今後、地域の方々への連携のため協働を図っていきたい。
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人が利用していたかかりつけ医をなるべく利用している。また当施設の協力医療機関もあり、事業所よりご利用者様の健康管理について連携をとっている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	必要な場合、その都度連絡を取り合っている。また往診にも来て頂いており、相談・診断・治療を行っている。		
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	当施設の看護職員と地域の医療機関の看護職員に日常生活の健康管理等について相談しながら支援している。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	病院のソーシャルワーカーや医師等々、入院時より退院に関する情報交換・相談に努めている。また、入院になった場合に備えてご家族様・医師等と話をしよう努めている。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	緊急時等も含め、発生した場合はマニュアルに沿って対応する。また体調変化時はその都度連絡・相談をしている。		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ターミナルケアの勉強会の実施を行っている。		重度化や終末期の方々が心地よく、そしてより良く暮らせるよう、運営者や職員、協力医の意見も聞きながら事業所での今後の変化に備え、検討・準備を行いたい。
49 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	ご自宅へ訪問したりご家族やご利用者様と細やかに連絡を取り話し合う。また、ご自宅や他施設等から当施設へご移動される方にも普段から使い慣れた家具や用具などを持ってきて頂き、過ごしやすい環境にする事に努めている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>言葉使いには常日頃より看護・介護職員にご利用者様への対応について注意をするようにしている。また接遇などの勉強会にも参加している。個人情報に関わるご利用者様の記録等は一冊にファイリングし保管している。</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>できる事に関してはご自分でできるよう支援し、できるだけご理解・ご納得頂ける様お話をしながら対応をしている。</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>食事や日中の過ごし方など、なるべくご利用者様1人ひとりに応じた過ごし方をして頂いている。ご希望があれば、その都度できるだけ対応している。</p>	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>ご希望があればその都度対応できるようにしている。その方らしい身だしなみ・おしゃれができるよう相談・検討も行って対応している。</p>	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>お食事の準備を手伝って頂いたり、ご自分のお膳を下膳して頂いている。また楽しみの時間となるよう、前もって食事メニューの放送を行ったり、選択食なども行っている。</p>	
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>ご希望があれば、その都度対応できるようにしている。また選択食も行っており、他にもおやつや飲み物など、1人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるように支援を行っている。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	<p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>1人ひとりの排泄パターンをつかみ、その方にあった時間での排泄を行っている。それにより、排泄介助でのオムツ使用の軽減を図っている。</p>		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>大まかに入浴日を決めているが、ご利用者様がいつでも入浴できるよう、ほぼ毎日入浴ができるよう支援している。</p>		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>なるべくご自宅と同じ環境をご用意できるようにしている。使い慣れた布団や枕等を持ってきて頂いたり、安心した時間を支援できるよう努めている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>おやつ作りや洗濯物たたみなどできることは役割として等としても行って頂いている。楽しみごとや気晴らしなど、レクリエーション等を通じて支援をしている。</p>		
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご自分で管理できる範囲の中でお金を持っている方もいる。その他の方に対してはお預かりしており、その都度使って頂いている。</p>		
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>ご利用者様1人ひとりのその日のご希望に沿って、散歩や買い物など外出できるように支援をしている。</p>		
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>他利用者様と共に施設外に出たり、外の景色を見にバスで出かけたりする機会を設けている。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	親類や大切な方へのお手紙・お電話などの声掛けを行い、気軽に行えるよう支援している。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	お部屋にて一緒にお食事をして頂いたり、過ごして頂ける。また気軽に訪問・お話できるように、お部屋とは別の場所も提供できる工夫をしている。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	徘徊マットや鈴等を使用し、環境面での工夫を行っている。また身体拘束に対するの徹底を行っており、看護・介護職員は常日頃より話し身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害について話し合い理解し努めている。徘徊マットや鈴等を使用し、環境面での工夫を行っている。		鍵をかけないケアについて今後も運営者・管理者・職員で話し合い、ケアに努めたい。
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	本人のプライバシー等に配慮しながら見守りし、安全確認・所持確認をしながら様子をみている。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	1人ひとりの状態に合わせて張り紙などを使い、危険の無いよう改善方法を職員間で話し合い、検討・対応している。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	それぞれに応じた業務マニュアルを作成しており、職員がいつでも学べるよう観覧できるようにしている。。またご利用者様1人ひとりのその日の状態に応じて危険が無いかどうか職員間と事故防止について常日頃より話しケアを行っている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	勉強会へ参加し、学ぶ機会を作っている。		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難経路を作成している。またこれを職員間で共有し対応できるようにしている。緊急時は地域の方にも協力を得られるよう声をかけている。		
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	今後、起こりえるリスクが想定された場合、その都度ご家族様にわかりやすく説明を行う。またご家族様のお話も聴き、それらを検討しながらケアを行っている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	ご利用者様のバイタルや顔色、気分等を常日頃より観察し、異変に対しての早期発見に努めている。また早期に医療機関での対応ができるよう協力医療機関ともその都度連絡を取り合っている。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ケース記録の一番前にお薬の内容の紙を綴じており、職員が用法や用量などの確認ができるようになっている。また、薬が変わったり多くなったりした場合は、その都度更新している。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	午前中に便秘予防等でフロア内を歩行練習をしている。できる方には参加して頂いている。またご利用者様にあった便秘予防の食べ物を食べて頂くなど、工夫を行い便秘予防に取り組んでいる。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	できるだけご自分で口腔ケアを行って頂いている。必要に応じ、職員がケアしながら行っている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ご利用者様一人ひとりにあった量や栄養バランスを考え、お食事を作っている。水分をあまり取られない方には、ご利用者様が飲みやすい飲み物やポカリスエットゼリー等で補給して頂いている。		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症に対してのマニュアルを作成しており、それに沿った対応を行っている。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	栄養士により常日頃より、調理器具・食器等の衛生管理を行っている。また新鮮で安全な食材を選び使用している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りに花を植えたり、ナスや苦瓜などの苗を植え、親しみやすく安心して出入りできるよう工夫している。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共同空間はいつも清潔でいられるよう、掃除を行っている。また季節感を取り入れ、季節の草花や果物・カレンダーなどを飾っている。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	お部屋が1人部屋なので、個人の時間も設ける事ができる。また気の合ったご利用者様とお部屋でお食事等もして頂けるよう工夫している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	以前から使い慣れた家具・洋服・布団・枕等 持ってきて頂き使用する事で本人が居心地よく過ごせる工夫をしている。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	随時換気を行っている。また夏は28℃、冬は20℃のエアコン設定を行っており、外気温と大きな差が無いように配慮し、またご利用者様の状況に合わせて設定をこまめに変えている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自分の力で活動できるよう、障害物はなるべく置かないようにしている。また張り紙やキーポイントとなるものを使用し工夫をしている。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	各お部屋の壁紙やカーテンが異なっているので、ご自分の部屋という認識をして頂けるようお話をしている。またできる力をなるべく引き出すためのケアを行い、ご利用者様の混乱や失敗による不安定な気持ちの軽減について職員同士話し合っている。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	サンルームや外に出る事ができ、外にてナスや苦瓜等の野菜を育てていた。またお持ち頂いたお花をベランダで育てている方もいる。		

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

1人ひとりのご利用者様に生活の流れを合わせ、のびのびとした時間の中、美味しい食事を共に食べ、また目配り・気配り・心配りを心がけ、思いやりを持って日々接している。